

平成30年度教職員定期人事異動方針について

このことについて、別紙案のとおり決定したいので、請議します。

平成29年9月4日提出

教育長 平 松 直 巳

説 明

この案を提出するのは、平成30年度公立学校教職員定期人事異動を行うに当たって、その基本方針を定める必要があるからである。

平成30年度教職員定期人事異動方針（案）

愛知県教育委員会

県民の信託に応えて本県公立学校教育の一層の充実・振興を図り、学校に清新の気風を醸成し、教職員の教育意欲を高揚するため、次の基本方針に基づいて定期人事異動を実施する。

- 1 適材適所を旨として公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。
- 2 新しい教育課題に適切に対応するため、職務経験の多様化や効果的な人材育成をねらいとした配置を推進する。
- 3 全県的視野に立ち、広域にわたる人事をさらに推進するとともに、学校間・地域間における教職員構成の充実・均衡を図る。
- 4 特別支援教育、へき地教育及び定時制・通信制教育の一層の充実を図るため、教員の配置の適正化に努める。
- 5 校長、教頭等への昇任に当たっては、厳正かつ公平な審査に基づき、勤務成績が優秀で、管理・指揮監督能力に優れ、特に包容力のある豊かな人間性と高い識見を有する人材を、男女を問わず登用する。
- 6 市町村教育委員会の内申及び校長の意見を尊重する。

《資料》

1 過去3年の人事異動状況

校種 年度	小学校	中学校	県立学校	計
27	3,784	2,144	2,010	7,938人
28	3,788	2,002	1,918	7,708人
29	3,794	1,871	1,884	7,549人

2 過去3年の人事異動内訳 () 校長異動内数

校種 年度	小学校	中学校	県立学校	計	
退職	27	793 (129)	359 (68)	434 (38)	1,586人 (235)
	28	839 (132)	308 (38)	420 (31)	1,567人 (201)
	29	844 (117)	300 (51)	469 (40)	1,613人 (208)
新任	27	1,063 (164)	515 (65)	577 (41)	2,155人 (270)
	28	1,036 (151)	460 (39)	525 (33)	2,021人 (223)
	29	1,040 (139)	458 (64)	553 (43)	2,051人 (246)
転任	27	1,928 (69)	1,270 (38)	999 (27)	4,197人 (134)
	28	1,913 (61)	1,234 (38)	973 (11)	4,120人 (110)
	29	1,910 (54)	1,113 (19)	862 (27)	3,885人 (100)
計	27	3,784 (362)	2,144 (171)	2,010 (106)	7,938人 (639)
	28	3,788 (344)	2,002 (115)	1,918 (75)	7,708人 (534)
	29	3,794 (310)	1,871 (134)	1,884 (110)	7,549人 (554)